

まちと市民を**守**る

急激な景気の悪化を受けて市は昨年1月、緊急経済対策を発表。その一つとして三菱車の新車購入への助成を実施しました。また、4月から輪番制の夜間急病診療やコミュニティバスの運行を組み合わせた「総社新医療体系」をスタートさせました。



受付初日の朝、窓口には申請する人で長い列ができた

三菱車の新車購入に10万円

市 税の10%を超える部分を負う市内の三菱関連企業を支援するため、市は三菱車の新車1台の購入に10万円を助成。用意した200台の募集枠は、受け付け16日目でいっぱいになりました。

3月2日から受け付けを開始。早朝から窓口前には多くの人が並び、午前9時までに53人が手続きを済ませました。初日の受付総数は97件にものぼりました。この助成は、市の緊急経済対策の一つ。全国的にめざらしい取り組みで、大きな注目を集めました。支援へのお礼にと、三菱関連企業の皆さんが、学校や公園などの施設の塗装や修繕をしました。

緊急経済対策



夜間急病診療の当番医を示す札を入口に掛ける医療機関の人

夜間診療と地域の足を

4 月1日から、輪番制による夜間急病診療、診療時間外の救急診療（24時間医療体制）を、吉備医師会や県薬剤師会総社支部と連携して始めました。輪番制による夜間急病診療は、水曜日と金曜日の午後7時から2時間行っています。診療時間外の救急診療は、市内の3つの救急告

総社新医療体系



美袋駅を出発するコミュニティバス「総社こまわりくん」

示指定の医療機関が担当。原則24時間対応です。また、高齢者などの交通手段の確保のため、阿曾地区1路線、昭和地区3路線でコミュニティバスの運行を始めました。総社新医療体系は、これらと救急の搬送体制の強化などを包括的に機能させ、医療の充実を図るものです。

総社を！
元気に！



早春の吉備路を駆けろそうじゃ吉備路マラソン。昨年装いも新たに復活し、3498人のランナーがマラソンを楽しみました。今年も1月22日にエントリーを締め切り、最終的に過去最多の7925人の申し込みがあり、2月28日の号砲を待ちわびています。

速報 2010 そらじゃ吉備路マラソン

過去最多の7,925人がエントリー

フルマラソン・ハーフマラソン・4.6キロメートルの3種目で開催

リ ニューアルして2回目。目のそうじゃ吉備路マラソン。総社市スポーツセンター周辺を発着点に、2月28日に開催します。今年もフルマラソン、4.6kmにハーフマラソンを加えた3種目。35都道府県から7925人がエントリーしました。リニューアル前の平成14年大会の6875人を1000人以上も上回る規模です。また、アテネオリンピック女子マラソン7位で天満屋女子陸上競技部の坂本直子さんが、招待選手として走ります。昨年2月15日に行われ、沿道から盛んな声援が送られるなか、3498人のランナーが、歴史ロマンあふれる早春の吉備路を駆け抜けました。発着点の総社市スポーツセンターや沿道などで、選手への受付や警備、給水などで約1000人のボランティアが活躍。沿道にも多くの人が応援に立ち、大成功の大会でした。